

カラ 一 ■横浜善光寺十八羅漢  
集 ●二十一世紀に向かって真実の種まきを

カラ 一 ■東野光生の世界  
●はばたけ！新世紀へ 開創三十周年、育英会設立十五周年  
●横浜善光寺十八羅漢  
●「ブッダモンソン」に世界最大の経蔵  
黒田 武志

特 集 ●「ブッダモンソン」に世界最大の経蔵  
タイ・今世紀最大の偉業にわくわく  
黒田 武志

カラ 一 ■南伝大蔵経の経蔵完成 「ブッダモンソン」に世界最大の経蔵  
リポート ●タイに巨大な仏教施設「ブッダモンソン」——経蔵落慶式を厳修—— 形山 俊彦  
連 載 ●くらしの中で読む『正法眼蔵』——面授の巻・その五—— 小倉 玄照  
特別寄稿 ●ベトナムを旅して 伊藤 博

●詩と禅  
●禅の心を米国へ——山口晴通老師らがロスを訪問—— 山口 晴通  
●禅院での体験 遠藤 博因  
●上座部の修行 アンゲリカ・ゼンジョー  
●育英生五人に辞令 真野 大成

カラ 一 ■伊藤三喜庵の世界  
●「アメリカ禅」を特集 三巻目の論文集刊行  
●「国際栄誉賞受賞」お祝いのメッセージ

声 209 読者のたより 230 留學育英生からのたより 258  
題字・さしえ 伊藤三喜庵

# 卷 頭 言

善光寺住職 黒 田 武 志

仏教を通して「仏法興隆、世界平和」に貢献したい、そして「宗祖を通して釈尊に還ろう」を旗印に、成寿山善光寺を開創して満三十年、育英会を設立して十五周年を迎えることが出来ました。

これひとえに大恩教主本師釈迦牟尼仏、高祖承陽大師、太祖常濟大師、歴代の祖師方のお徳のいたらしめる所であり、仏天のご加護であります。同時に心温かい檀信徒の皆さまのお力添えと、多くの方のご支援の賜物で、心から関係各位に厚くお礼と感謝を申し上げます。

この三十周年の節目の記念行事といたしまして、四月に中国を訪問いたしました

た。

曹洞宗の開祖道元禪師は、貞応二年（一一二二）二十四歳の春、日宋貿易船に便乗して、中国へ留学修行、その二年後には太白山天童寺をたずね、如浄禪師に出逢い、坐禅修行に励み、「身心脱落」の言葉で悟りを開かれました。

道元禪師さまは、安貞元年（一一二七）帰国しました。そして第一声、悟りの心境―我、彼の土において、柔軟心ニウナシシを学ばん―と喝破されました。それは、肉体も精神も共に、一切の執着からとき放され、自由になりきることであり、それが身心脱落で、仏祖の心であると説かれました。

此の度私達は、そのお寺寧波ネイハの天童禪寺を参拝いたしました。天童禪寺の修祥監院老師は、我々一同を大変喜んで迎えて下さり、心からなるおもてなしをいただきました。天童禪寺の大雄宝殿では、善光寺山門繁栄、檀信帰崇、旅の道中安全を御祈念し、参加者各家、そして檀信徒各家先亡累代諸精靈、有縁の三界万靈等に回向をさせていただきました。

又、北京にては、『成寿』の表紙、さし絵をお描きいただきました故伊藤喜二郎先生設計の中国一の医院「中日友好医院」をたずねました。

次の日には、北京ではもつとも古い名刹で中国仏教協会のある弘慈広濟寺にて、美しい白玉の欄干をめぐらした大雄宝殿において十八羅漢に守られた法堂で、成寿山善光寺開基故村岡満義靈位二十三回忌、故村岡家先祖代々、そして善光寺檀頭故伊藤喜二郎靈位の追善供養をとり行うことが出来、深い法悦を感じました。そして、善行を積み悪をつくらず、生死に著<sup>しやく</sup>する心なく、一切衆生のために、さらなる精進をと自分に言いきかせました。

『法燈高く耀く善光寺』

仏徳常<sup>に</sup>開く成寿の禪』

これを目標にかかげ、釈尊の正伝の仏法を世に伝えるために、あらためて、0ゼロからの出発を、かたく心に誓っております。